

## 令和 6 年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

### ■調査概要

助成団体	兵庫県神戸市
事業細目名	国際競技大会開催事業
事業名	神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会の開催
助成金額	200,000,000 円

### ■調査内容

令和 6 年度国際競技大会開催助成を受け、「神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会」を開催した兵庫県神戸市の調査を実施しました。

本大会は、2024 年 5 月 17 日（金）から 5 月 25 日（土）の 9 日間にわたり 168 種目を実施し、約 100 か国・地域から約 1,000 人の選手が参加する大会です。当初は 2021 年に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により 2 度の延期を経て、今回、第 11 回大会で東アジア初の開催となりました。本大会は今夏のパリ 2024 パラリンピック代表選考も兼ねており、世界のトップ選手の白熱した戦いが連日繰り広げられました。

神戸市としては 35 年ぶりに国際大会の組織委員会を運営することとなり、国際大会特有の制約が多い中でも、世界パラ陸上競技連盟と調整を重ね、各所に工夫が見られる大会となりました。具体的には、選手等の移動にリフト付きの福祉車両を多数活用し、可能な限り移動距離が少ない動線とするなど、パラスポーツの特性を鑑みた輸送体制を確立した他、仮設エリアをバリアフリー対応にするなど、関係者や観客を含めたアクセシビリティに配慮した運営となっていました。

また、競技の観戦価値をより高めるため、国内の大規模なパラスポーツ大会としては初めてチケット販売を行い、最も金額の高い席種が売り切れた日程もあったとのこと。さらに、大会期間中は約 3 万人もの地元の小中学校・特別支援学校の生徒が招待されました。なお、特別支援学校の生徒は、観戦のみならず、ボランティア控室にて関係者にコーヒーを提供するなど、生徒も一体となり大会を作り上げる取り組みが行われていました。

調査当日は、平日にもかかわらず多くの観客が駆けつけており、子どもたちを中心とした大きな声援が選手たちを後押し、試合後の選手たちの笑顔が印象的でした。試合終了後、スタンド前方の子どもたちと海外選手が交流する様子や、表彰台を会場外に設けたことで選手と観客の距離が近い様子も見られ、参加者にも開催側も記憶に残る大会となるように感じました。

東京 2020 のパラリンピックムーブメントの理念を継承した本大会を通じて、パラスポーツに関する感動体験が根付いた参加者から、更に神戸市の目指す共生社会の実現に繋がる好循環が生まれることを期待しています。

（令和 6 年 5 月 22 日往査）

(写真) 神戸 2024 世界パラ陸上の様子

